

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程 介護福祉学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			人間の尊厳と自立	人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性を理解する。	1・前	30	/	○			○			○	
○			人間関係とコミュニケーション	自己理解と他者理解によって人間関係の形成のためのコミュニケーション能力を習得する。	1・前	30	/	○			○			○	
○			社会の理解 1	わが国の社会保障の基本的なしくみを学習する。	1・前	30	/	○			○			○	
○			社会の理解 2	介護実践に関連する諸制度、障害者自立支援制度について学習する。	1・後	30	/	○			○			○	
○			社会の理解 3	介護実践に必要な介護保険制度について学習する。	1・後	30	/	○			○		○		
○			地域福祉	地域住民のもつ問題に対する社会福祉施策と、住民相互の連帯を学ぶ。	2・前	30	/	○	△		○	○		○	
○			レクリエーションワーク	レクリエーションを通してコミュニケーション能力を養う。	1・後	30	/	△	○	○	○		○		
○			情報処理	各種情報機器の原理と必要な情報機能の知識を習得する。	1・後	30	/		○	○	○			○	
○			基礎介護総論 1	尊厳の保持と自立支援を柱に介護福祉士の役割を学ぶ。	1・前	30	/	○			○			○	
○			基礎介護総論 2	新しい介護の考え方を理解し自立に向けた介護を学ぶ。	1・後	30	/	○	△		○		○	○	
○			基礎介護 1	高齢者や障害者のくらしを理解しその人らしい生活を学ぶ。	1・前	30	/	○			○		○		
○			基礎介護 2	介護の基本的な知識と記録の方法を学ぶ。	1・前	20	/	○			○			○	
○			基礎介護 3	障害のある人を支えるコミュニケーションの方法を学ぶ。(手話・点字)	1・前	30	/	△	○	○	○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			基礎介護4	多様な介護サービスと多職種の連携を学ぶ。	2・前	30	/	○			○		○	○	
○			基礎介護5	アロマセラピーなど安楽に対する支援技術を習得する。	2・前	12	/	△	○		○			○	
○			コミュニケーション技術1	介護におけるコミュニケーションの意義と基本を学ぶ。	1・前後	30	/	△	○	○	○		○		
○			コミュニケーション技術2（音楽・クラフト）	介護場面での利用者や家族とのコミュニケーションを学ぶ。	2・前	30	/	△	○	○	○			○	
○			生活支援技術1	生活の理解を根底に置き生活支援の考え方を学ぶ。又、利用者の状況に応じた睡眠と安眠を促す介助を学ぶ。安全で気兼ねなく動けることを支える介護の工夫を学ぶ。	1・前	30	/	△	○	○	○		○		
○			生活支援技術2	生活習慣における装いを自立に向けた身支度を通して学ぶ。	1・前	20	/	△	○	○	○		○		
○			生活支援技術3	食事を楽しむ環境づくりと食事介助の技法を学ぶ。	1・前	30	/	△	○	○	○		○		
○			生活支援技術4	様々な障害に応じた介護方法を学ぶ。	1・後	20	/	△	○	○	○		○		
○			生活支援技術5	入浴や清潔の保持とその方に応じた支援技術を学ぶ。	1・後	30	/	△	○	○	○		○		
○			生活支援技術6	気持ちのよい排泄の介護と状況に応じた支援技術を学ぶ。	1・後	30	/	△	○	○	○		○		
○			生活支援技術7	腰痛予防対策など、最新の技術を習得する。	2・前	20	/	△	○	○	○		○		
○			生活支援技術8	終末期における介護の意義と介護方法を学ぶ。	2・前	30	/	○	△	△	○		○	○	
○			生活支援1	心地よい生活の場の工夫と自立に向けた住居環境を学ぶ。	1・前	20	/	○	△	△	○			○	
○			生活支援2	家事を支える技法として調理方法を学ぶ。	1・後	30	/	△	○	○	○			○	
○			生活支援3	家事に参加することを支える家事の介助の技法を学ぶ。	2・前	20	/	△	○	○	○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			生活支援4	カバーリングメイク、ネイルケアなど生活の質の向上に関わる技術を習得する。	2・前	20	/	△	○	○	○				○
○			介護過程1	介護過程の意義と目的を学ぶ。	1・後	30	/	○			○		○		
○			介護過程2	介護過程の展開の仕方と実践的展開を実習と併わせて学ぶ。	1・後	30	/	△	○		○		○		
○			介護過程3		2・前	30	/	△	○		○		○		
○			介護過程4		2・前	30	/	△	○		○		○		
○			介護過程5		2・後	30	/	△	○		○		○		
○			介護総合演習1		1・前	30	/	△	○		○	○	○		
○			介護総合演習2	1・後	30	/	△	○		○	○	○			
○			介護総合演習3	2・前	30	/	△	○		○	○	○			
○			介護総合演習4	2・後	30	/	△	○		○	○	○			
○			介護実習1-1	介護を必要とする方の様々な生活の場を実習により学ぶ。	1・後	35	/			○	○	○	○	○	
○			介護実習1-2		1・後	35	/			○	○	○	○	○	
○			介護実習1-3		1・後	70	/			○	○	○	○	○	
○			介護実習1-4		2・前	35	/			○	○	○	○	○	
○			介護実習1-5		2・前	21	/			○	○	○	○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			介護実習Ⅱ-1	学習した知識や技術を総合して介護現場で実践力を習得する。	2・前	119	/			○	○	○	○	○	
○			介護実習Ⅱ-2		2・後	140	/			○	○	○	○	○	
○			発達と老化1	人間の成長と発達・老化の基礎及び高齢者の健康について学ぶ。	1・後	30	/	○			○		○	○	
○			発達と老化2		2・前	30	/	○			○		○	○	
○			認知症の理解1	認知症の基礎的理解とケアの考え方を学ぶ。	1・前	30	/	○			○			○	
○			認知症の理解2	認知症に伴う心と体の変化とケアを通して実践的に学ぶ。	2・前	30	/	○	△		○		○	○	
○			障害の理解1	障害の概念を通して基礎的知識を習得する。	1・後	30	/	○			○		○		
○			障害の理解2	様々な障害を理解し環境などを配慮した介護の視点を習得する。	2・前	30	/	○			○			○	
○			こころのしくみ	人間の欲求の理解と心の仕組みなどを学ぶ。	1・後	30	/	○			○			○	
○			こころとからだ1	身支度や移動・食事などの心とからだの仕組みを学ぶ。	1・前	45	/	○			○		○	○	
○			こころとからだ2	入浴・排泄・睡眠などの心とからだの仕組みを学ぶ。	1・後	45	/	○			○		○	○	
○			医療的ケア1	医療的ケアを安全・適切に実施できるための基礎的知識を習得する。	1・後	30	/	○	△		○		○	○	
○			医療的ケア2		2・前	38	/	○	△		○		○	○	
○			医療的ケア演習	医療的ケアの実践的知識・技術を習得する。	2・前	20	/			○	○		○	○	
	○		福祉レクリエーション	レクリエーションの考え方を理解しレクリエーション活動を学ぶ。(レクリエーション・インストラクター資格取得科目)	1・前	18	/	○	△		○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	救急法	緊急時における心肺蘇生法やAEDの使用法などを学習する。(資格取得可能科目-赤十字救急法救急員)	2・後	24	/	△	○		○		○			
	○		障害者スポーツ	障害者のスポーツを通して障害者のサポートを学習する。(資格取得可能科目-障害者スポーツ初級指導員)	1・後	12	/	○	△		○	○	○	○		
合計															60科目	1949単位時間(単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学則に規定する教育課程を修了し、全ての履修時間の認定を受けたものについて卒業判定会議の議を経て学院長が卒業認定をする。 原則指定された教育課程を全て履修とする。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。